

# みんなの議会

2023年2月  
第92号



## 大好評! 明日萌イベント

### 第4回定例会 ..... 2~3↑

- 令和4年度一般会計補正予算
- 決算特別委員審査報告
- 委員会発議条例 ほか

### 臨時会 ..... 3↑

- ほろしん温泉指定管理者の指定
- 物価高騰対策 補正予算
- 小・中学校空調整備工事

### 一般質問 ..... 4~7↑



鵜野議員が「農業所得対策について」質問した他、6名の議員が一般質問を行いました。

### 議会の動き ..... 8~9↑

- 議会改革 議会モニターの意見箱
- 総務民教建設常任委員会 意見書
- 産業福祉常任委員会 視察

沼田町議会QRコード



# 令和4年 第4回 定例会

## 12月15~16日

12月15日から16日まで令和4年第4回定例会が開催されました。

町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が一般質問を行いました。

今回は試験的にユーチューブ生配信を行いました。

### 上程された主な議案

◎決算特別委員会審査報告  
令和3年度沼田町一般会計等・令和3年度沼田町水道事業

歳入歳出決算認定について

◎総務民教建設常任委員会  
所管事務調査報告  
飲酒運転撲滅に向けて

◎沼田町飲酒運転根絶条例  
に関する条例の発議  
(詳細8ページ)

◎地方公務員法の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の制定  
国が進める定年延長義務化にあわせて沼田町職員が段階的に定年を延長可能にする条例整備

◎沼田町議会議員及び沼田町長選挙運動の公費負担に関する条例改正

◎恵比島揚水機場2号ポンプ電動機整備工事の請負契約について

・契約金額 6138万円  
契約先クボタ環境エンジニアリング株式会社北海道支店

### 令和4年度補正予算

【一般会計】へ主な内容

#### 振興費

沼田町企業立地促進条例  
補助金 125万円  
町内企業での雇用増加に対する補助金

#### 衛生費

・新型コロナウイルスワクチン接種委託料 720万円

#### 商工費

・魅力アップぬまた活性化支援事業補助 134万円  
・除雪委託料 21万円  
明日萌イベントに対応する除雪

#### 農林水産業費

・農産加工場パルパーフィニッシャー整備事業 1540万円  
機械の更新に伴う起債



加工トマトの裏ごしに使うパルパーフィニッシャー

#### 教育費

・会計年度職員報酬 40万円  
・食堂運営委託料 33万円  
スキー場の営業時間が当初計画より拡大したため

・町民体育館卓球台購入 43万円  
\*11月の子ども議会での要望で購入されました

#### 燃料費高騰に伴う補正

・暮らしの安心センター 99万円  
・ほたる学習館 140万円  
・小学校費 150万円  
・中学校費 100万円  
・和風園 279万円  
・旭寿園 352万円

#### 養護老人ホーム総務費

・見守り機器導入に伴う通信環境整備事業等 1289万円

### 表紙の写真

<明日萌イベントラストラン!>  
昨年12月25日に行われた恵比島駅でのクリスマスフェスタは多くの鉄道ファンで賑わいました。



議場での傍聴者は4名、初のYouTube配信は伸べ視聴者数308名でした。

今回のYouTubeライブ配信は試験的なものでしたが、今後また継続検討して行きます。

～みなさまの傍聴お待ちしております～



## 第7回臨時議会

令和4年11月28日

### ◎スコールセンター指定

管理者の指定について  
ほろしん温泉ほたる館の運営がシダックス大新東サービス契約期間終了に伴い、第一寶亭留に決定しました。定山溪や富良野など温泉業務の実績があり、町特産品をメニューに取り入れることなどの検討や特産品を配布しPRをすることなどが期待されます。



4月から新しい指定管理者へ

### ◎町職員給与に関する条例などの改正

職員給与・特別職給与・議員報酬の条例の一部改正

### ◎物価原油高騰対策事業

一般会計補正予算  
費

- ・電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援給付金 2385万円
- ・原油価格・物価高騰対策補助金 1177万円

商工業者に対する電気料の一部支援

- ・農業資材価格高騰対策助成 1869万円
- ・高齢者世帯等福祉灯油助成事業 250万円
- ・沼田町定住支援世帯冬季暖房経費助成事業 1480万円



## 第1回臨時議会

令和5年1月12日

### ◎学校管理費

国の学校施設環境改善事業を活用し、学校にエアコンを配置します。

- ・小学校空調整備工事 3299万円
- ・中学校空調整備工事 5497万円



### ◎児童福祉費補助金

- ・出産・子育て応援交付金事業 84万円
  - ・出産応援 妊婦1名あたり5万円支給
  - ・子育て応援 こども1人あたり5万円支給
  - ・町道除雪委託料 1000万円
- 除排雪費の増加による補正

## 町長・教育長への一般質問

### 問 次期町長選挙に向けての考えは

答 新たなまちづくりに向けて挑戦する



伊藤 淳  
議員

### 問

令和元年5月に横山町政がスタートしてから4年が過ぎようとしている。

この期間は畑に種をまいた時期だとすれば、この4年間で行ってきた多くのプロジェクトが実を結び、その収穫物を成果として町が潤い、活性化させる政策が今後必要と考える。

任期満了に伴う町長選挙に対しての横山町長の考えを聞きたい。



私は今までオー

ル沼田のまちづくりを何度も提唱させていたできました。これは、行政主導ではまちづくりは完結できない、そんな時代が到来していると考えられています。

オール沼田の町づくりの基盤を作ることこそ、私に与えられた使命であると捉えます。

新たな公共交通体制の確立をはじめ、多くの課題に

取り組み、町民が安心して暮らせるまちづくりをより一層推進するため、後援会の推薦もあり次期町長選に

再選を目指して立起することを表明させていただきます。

### 問 自然学校を直営で運営するねらいは

答 当面指定管理ではなく委託で事業運営を行う



誉地 輝  
議員

なら町からの人的支援や、計画内容の変更があるのか聞きたい。

令和5年度からオーブンする自然学校は、専門的人材育成がなされるまで直営で管理し、事業を行うという行政報告があった。

### 問

令和5年から、オートキャンプ場がほろしん温泉の新たな指定管理者に変わる。直営になる自然学校のグラッピングができるプライベートルートキャンプ場と、指定管理のオートキャンプ場の棲み分けがうまく機能するのか疑問がある。自然学校を直営にするねらいは何か。



運営法人が自然

学校本体の事業を行い、産業創出課がほたる学習館の施設管理を行います。自然学校を直営で運営するわけではありませんので、事業内容は基本的に変わりません。

プライベートルートキャンプ場

当初の計画では、まると自然体験プロジェクトの業務を担っているNPO法人が指定管理することを前提に計画を組んでいたはずで、人材育成が理由であるなら当初のハードルが高かったのではないかと。自然学校のプログラム開発や家畜の世話などもあり、今の3人体制で不足するの

新たな公共交通体制の確立をはじめ、多くの課題に

新たな公共交通体制の確立をはじめ、多くの課題に

新たな公共交通体制の確立をはじめ、多くの課題に



自然学校主催の森のようちえん

はほたる学習館敷地内ですので、町から自然学校に備品も含めて無償貸与して、空間を独り占めできる高い満足度を提供します。

オートキャンプ場は気軽なファミリー層に対応し、自然学校の体験も提供していきたい。

**問** 新たな農業所得対策は必要

**答** 意見反映できるように調整する



沼田町の農業政策の  
一つであるアグリファームは町長肝いりの事業だったが、時代の流れやニーズに合っているのか聞きたい。

**問** 沼田町の農業政策の一つであるアグリファームは町長肝いりの事業だったが、時代の流れやニーズに合っているのか聞きたい。

農業所得対策事業は、経営の高度化が進む農業者に対する支援戦略として重要な事業と考える。これがうまく機能すると農家戸数の減少が緩やかになる。所得対策事業が、継続し



役場2階にあるアグリファーム事務所

て同じものが繰り返されておき、農家が使ってみて自分の経営にプラスになるメニューづくりも考えなければ、対策が機能しないし農家所得も向上していかない。所得対策事業が時代に即したメニューなのか町長に聞きたい。



アグリファームは時代にマッチした環境を作りながら、将来を見据える担い手の確保に向け継続していきます。

農業所得対策は農家の意向にあったメニューなのかと、言うことですが、これを整理するために協議の場

農家の代表も入ってもらい、我々が考えるものに不足がないかご意見をいただいています。

改めて農業推進委員会、

**問** 町民の声を取り入れた双方向のまちづくりを

**答** 懇談会の対応に様々な工夫をしていく



3年前、町民と双方向でのオール沼田のまちづくりを質問した後、コロナ禍で対面での懇談会が難しくなった。

**問** 3年前、町民と双方向でのオール沼田のまちづくりを質問した後、コロナ禍で対面での懇談会が難しくなった。

その後のふるさと創造懇談会は参加者が少なく、原因は町民の声を受け止める余地が少ないからという声もある。

町長が目指す町民と一体となったまちづくりは、懇談会を工夫する中で町民の声を聞くことができるのではないかと考える。行政の窓口である役場職

あるいは農業総合対策協議会に提示をさせていただき、意見反映できるように調整します。

員の視点ではない光るアイデアが、ふるさと創造懇談会の大事な部分だと思う。それによって職員も手応えを感じるし、そういう姿勢が双方向のまちづくりの大きな一歩になる。町長の考えを聞きたい。

ふるさと創造懇談会は、まちづくりの重要案件や事業経過を皆さまにお知らせし、いただいた意見や要望には、いねいに対応しています。実行できるものはすぐに実行

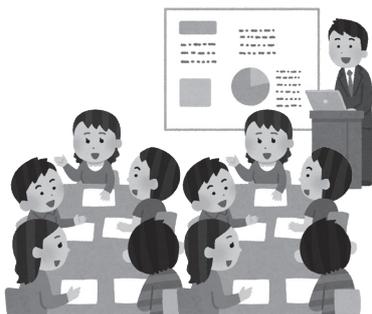


ふるさと創造懇談会は、まちづくりの重要案件や事業経過を皆さまにお知らせし、いただいた意見や要望には、いねいに対応しています。実行できるものはすぐに実行

ふるさと創造懇談会は、まちづくりの重要案件や事業経過を皆さまにお知らせし、いただいた意見や要望には、いねいに対応しています。実行できるものはすぐに実行

してきたつもりです。しかし、意見をすべて実行するのは難しい部分もあることをご理解いただきたい。参加者が少ないことに対しては、市街地区で昼夜2回にしたり、農村地区では夜間開催にするなど、参加しやすくなるような模索をしています。

ワークショップ形式などの手法を取り入れながら進める必要もありますが、あくまでも手法の1つであり、今後の対応策についてさらに工夫をします。



**問** 長野議員のそのほかの質問

**問** 樹液づくりの町の推進を

**答** ほろしんの森で採取を進める

**問 安倍元首相の国葬への対応は**

**答 町として功績に敬意を表した**



篠原 暁  
議員

半旗の掲揚に至る経過を町民に説明する必要があると考えるがどうか。



北空知は二町が実施、一市一町が

未実施でした。

**問** 前回定例会において、町長は「国からの指示がない段階であり、周辺の状況を見て判断する」旨の回答をした。実際には実施した自治体が少数だったにも関わらず半旗を掲揚した。

情報収集をどのように行い判断材料としたのか。

国葬を行うことをどのように考えたのか。

国が行うことに町は従わなければならないとする根拠があるのか。

**篠原議員のそのほかの質問**

**問** 留萌線廃止後に移動の自由は確保されるのか

**答** 次世代交通推進室で対応する

**問** マイナンバーカードは町民を幸せにするのか

**答** 交付時にいねいに説明する



元首相を務められた方が、悲惨な事故で亡くなり、国民として敬意と弔意をもって弔うべきと思っています。総理として8年8ヶ月に亘って、国民の生活を守るために奔走し、東日本大震災からの復興、日本経済の再生や発展に尽力し、日米関係を基軸とした諸外国との

外交を指導された功績は紛れもない事実と認識するところですが、実績功績に対する敬意を持って弔意を示すべきと判断し実施したもので

す。改めて説明会を開催する

**問 沼田町の少子化と親への支援を**

**答 現状を深く受け止め検討する**



上野 敏夫  
議員

**問** 全国的に出生率が下がっている。沼田町でも新生児が少なく4月からは2人と聞いている。こども園、小・中学校、あらゆるところに大きな影響が出ると思うがどう考えるのか。

山村留学の取組み、入学前の幼児の家庭への水道料金やオムツの無料化など子育て中の親に寄り添うことが大切と思うがどう考えるのか。

予定はありませんが、町民の皆様のご理解はいただけるものと思います。

改めて説明会を開催する予定はありませんが、町民の皆様のご理解はいただけるものと思います。

他町から来た同級生も友達も親戚もいないお母さんは、いざという時に頼るところ、相談する人がいないという声を聞く。町全体で赤ちゃんを見守っていくサポート機能が発揮できていないと思うがどう考えるのか。

数年前の全国出生数は81万千人（前年比2万9千人減）で、今年度さらに減り、本町も、

園、小・中学校に影響が出てくる大きな問題です。

子育て支援充実を掲げ、乳幼児から高校生までの医療費無料化、乳幼児の健康診断助成、こども園の保育料の無償化など、町独自の支援を実施しています。

山村留学なども含め、子育てしやすい町づくりを念頭に置き、現在独自に行っている子育て支援策、事業も含めて今後の対策、適切な支援について検討実施したいと思っています。

子育てサポートセンターを立ち上げ、子育てが終わった親御さんに登録していただきお子さんを持つ方のサポートを実施しています。

**上野議員のそのほかの質問**

**問** 子どもが利用しやすい高穂スキー場の活用

**教育長答** レッスン料の補助、駐車場の整備を検討する



**問** 商工会がお買い物アプリに着手するのは今  
**答** 商工会の取組を支援をする



久保 元 宏  
議員

**問** 町も商店街活性化に複数提案をしているが、結果的に集客に結びついていない。

活動拠点整備事業で各店の看板を新しくすると街そのものを歩きたくなる。魅力アップ沼田活性化事業でオリジナル商品を作る。そういう取組で、すでにある事業が活かされる。

また、バーチャル沼田商店街が起爆剤の一つになるのではないかとという議論がある。擬似的ウインドショッピングが実際の入店も促す。さらにこれからはメタ

バーズ空間の時代。やるなら今で、他の町がやってからでは魅力が無くなる。町長が考える商店街の活性化策と、お買い物アプリやメタバーズへの支援について聞きたい。

また、JR留萌本線廃線後の次世代交通とまちづくりもいっしょに考えます。

お買い物アプリは町内外から買い物利用の増加が期待でき、購買の流出を防ぐことができそうです。ぜひ商工会で検討いただき、町も前向きに支援したい。

**メタバーズってナニ?**

一言でいうと「仮想空間」です。ネット上に構成される世界で、私たちはアバターと呼ばれる分身を介して活動します。商店街を歩いて実際の店員さんのアバターと会話するなど、現実の世界をネット空間に再現できますが、今はまだ発展途上の技術です。



商店街が活性化するためには商工業と農業の連携が必要です。

メタバーズは買い物だけでなく、本町の交流・関係人口をつなぐ仮想空間です。沼田町のファンを増やすために情報収集したいと思います。



**広報特別委員会視察研修**

鷹栖町(10/27)、仁木町(10/28)

初めて広報を担当するメンバーが手探りで始めた編集でしたが、ようやく全国レベルの議会を視察する機会を得ました。

また、週刊誌のようなお知らせチラシや、広報に先立って発行される速報版などユニークな活動がたくさんありました。

1日目の鷹栖町議会は、アイデア豊富な委員長の下魅力ある紙面構成に取り組んでいました。議会終了から脱稿までのテンポが速く、高機能な編集ソフトや文字起こしのシステム化など、IT化に多額の予算が充てられていました。

2日目の仁木町議会も何度も全国入賞した実績があり、全議員が事務局と協力して編集に取り組んでいます。表紙には毎回大きく子どもや家族の写真を使い、その写真と連動した家族紹介の記事が裏表紙で取り上げられています。

私たちの広報も今回を含めてあと2回ですが、研修の成果を生かし、事務局の力も借りながら紙面改革に取り組みます。



## 総務民教建設常任委員会

### 所管事務調査報告 「飲酒運転撲滅に向けて」

この度、総務民教建設常任委員会は、以下の理由から飲酒運転根絶に関する条例の制定を提案しました。

飲酒運転は地域住民の幸せを阻害する悪質な犯罪であり、被害者と家族の人生を大きく狂わせるもので、絶対にしてはいけない行為である。

沼田町は、昭和40年3月に交通安全宣言をしていることから、改めて飲酒運転がもたらす交通事故の悲惨さを強く認識し、住民意識を高め、持続することが必要である。

### 沼田町飲酒運転根絶に関する条例

飲酒運転根絶のためには、法律による厳罰化という外形的な対応に委ねるだけではなく、町民の規範意識の定着や再発防止という内面的な観点からの取組が必要である。公務に携わる者が率先して取り組むことはもちろん、町民一人ひとりが飲酒運転は大切な命を奪う重大事故の原因となることを深く認識し、「飲酒運転をしない、させない、許さない」そして、「見逃さない」という強い自覚を持ち行動することが必要である。

沼田町民が一致協力し飲酒運転根絶に向けて取り組むことを決意し、10条からなる条例を制定する。



## 産業福祉常任委員会

### 所管事務調査視察 「社会福祉協議会と連携した町づくり」

産業福祉常任委員会は、昨年11月30日に増毛町を訪ね、町福祉厚生課と「社会福祉協議会と連携した町づくり」について意見交換をしました。以下にその内容を報告します。

増毛町では、「みんなで支え合う地域づくり」として、老人クラブ連合会をはじめ、各種団体への運営費助成や活動支援を行っている。

さらに、住民が主体となる「おたがいさま事業」として、掃除や洗濯、衣類の整理、買い物や調理のほか、草刈りなどを1回30分、500円のチケット制で行っている。

子どもから高齢者、障がい者等の交流の場として、ふれあい広場を開催し、交流を図っている。子どもから高齢者の取組は三世代交流で、障がい者の交流は母子会との合同で旅行会を企画している。(ここ数年はコロナ禍で中止)

今回の視察を経験して、沼田町では各団体のボランティア代表が集まって会議を行う推進委員会

で団体ごとにボランティア活動を行っており、ボランティアセンターとしての事業の統一、調整が行われていないことを感じた。

今後ボランティア活動の一体化が必要であると考える。



あいさつをする上野委員長

## 議会改革特別委員会

# 町民とつながる議会を目指して



自治振興協議会役員の皆様

### 自治振興協議会との懇談会

11月28日に 自治振興協議会（宮脇英樹会長）の役員の皆様と議員会とで懇談会を行いました。

各行政区から提出された意見や要望に対する町の回答や今後の対応について報告がなされ、議会からは議会基本条例に対するそれぞれの意見を交わしました。

### 議会モニター会議の開催



5名の議会モニターとの意見交換

12月22日に議会モニターとの意見交換を行いました。会議は毎定例会後に行い、年4回の予定で開催し、議会の活性化に向けて意見交換を行っています。議会モニターの方々に、4年間の活動報告を行い、その総括として議会基本条例の制定に向けての意見も参考にさせていただきます。年度末に向けて最終報告をまとめていきます。

## 議会モニターの意見箱

沼田町議会モニター 渡邊 幸恵

私は議会モニターになって3年になります。3年前議会モニターをやってみませんかと誘っていただいたとき、議会というものを意識してこなかったと気づき、テレビのニュース番組や新聞もあまり見ず身の回りのことだけで、しかも沼田出身ではないので、私が議会モニターになって大丈夫なのだろうか不安でした。しかしこんな私でも理解できる様に一からわかりやすく議会のしくみ等を教えて下さり勉強することができました。

今回議会モニターとして議会を傍聴したり、議員さんの仕事を近くで見させて頂いたことで、議員の皆様が沼田町民のために何ができるのかを視野を広くもち多方面で尽力して頂いていること、また、私のような議会素人の未熟な意見にもしっかりと耳を傾けて頂けることが分かりました。今はまだ議会について自分とは縁遠い存在に思っている方もいるかもしれませんが、私はとても身近な存在だと思います。この事を多くの人に感じてもらえる様な手助けを議会モニターとして努力していきたいと思えます。

これから沼田を全く新しい町にするのではなく、今ある沼田の良い部分を最大限に活用し皆で未来の事を考え、この素敵な、町をより良いものにしていけたらと思います。



説明を受ける渡邊さん(中央)

みんなの広場

スキー場の発展に向けて



よこやま まさとし  
沼田スキー学校 副校長 横山 昌利さん

この度、長年に渡り町内外の人々に愛されてきた町営高穂スキー場が施設の老朽化に伴い、新たにASHIMOI KANKO高穂スキー場としてリニューアルオープンする運びとなりました。この様な決断をして頂いた町行政をはじめ各関係団体、各関係機関の皆様方の御理解と御尽力に心から感謝とお礼を申し上げます。北海道内のスキー場が減少傾向にあります。沼田町ではスキー場を存続する方向に向かって頂きました。今までは一人乗りのリフトでしたが二人乗りのリフトに変更され、ロッジは2階建ての見晴らしの良いものになりました。例年より親子連れの方々や町内外より多くの人々が来場されていると肌で感じているところです。1月上旬の好天の日にはリフト乗り場が長蛇の列となり、私が小学校時代の昭和の賑わいを感じました。

沼田スキー学校も設立40周年を迎える年となりましたが、20数名の指導者で活動しています。小さなスキー場ではありますが地域の様々な方々と共に力を合わせ、子どもから大人まで賑わい溢れるスキー場であり続けることを願い、今後ともスキーの「楽しさ」を指導者が一丸となり子ども達に伝えていきたいです。そして、町内外の多くの人々が豪雪地帯の沼田町でスポーツを通じて健康な体作りに役立てて頂きたいです。



スキー学校は大忙し

広報特別委員  
長野時敏 篠原 暁  
上野敏夫 畑地 誉  
伊藤 淳

今やデジタル社会、オンラインドースイッチのテレビゲームについて行けない大人たちは、逆に子どもから教わることも：生涯学習の時代はいつまでも学ぶことが多くあります。

昔は親戚や子どもたちが集まると、楽しい遊びが始まり、特に任天堂の花札で遊んだことが多くありました。大人やお兄ちゃんたちのまねをして小さな子も参加し、子どもたちは遊びの中から、伝承や日本文化そしてルールを学んで社会性を養いました。

行動制限がない年越しを迎え、しばらく会えなかった家族や知人に再会できた方も多かったのではないのでしょうか。

あとがき

今年の思いはこの一文字

変



小峯議長

改



鶴野副議長

穏



大沼議員

翔



高田議員

学



上野議員

試



久保議員

幸



長野議員

挑



篠原議員

馬



畑地議員

進



伊藤議員

柔

黒田局長

戻

中山書記